

競技注意事項及び大会規定

1. 本大会は 2025 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。

2. 招集について

(1) 招集は全て招集所(100m スタート側)で行う。

(2) 招集開始及び完了時刻は、別記競技日程を参照のこと。

(3) 招集の手順

①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブス、スパイク、衣類及び競技場内に持ち込む物品等の確認を受けた後、係員の指示に従って、競技場に入る。

②代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2 種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、第 1 種目の招集開始までに所定の用紙に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。用紙はホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」を使用すること。(招集所にも用意する)

③招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。

④やむをえず出場種目を欠場する場合には、招集開始までに欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する。)

3. 競技場の入退場について

(1) 競技場の入退場は係員の指示に従って整然と行う。なお、本部前の通行は禁止する。

(2) 競技者以外はトラック、フィールドに立ち入らないこと。

(3) 競技終了後は係員の指示に従って、競技場外へ退場すること。

4. 競技について

(1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。

(2) トラック競技は 1 0 0 m のみタイムにより順位を決定する。

(3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。

(4) フィールド競技は 3 回の試技の後、記録の上位 8 名がさらに 3 回の試技を行い、順位を決定する。計測ラインを次のように設定する。ただし、跳躍審判長・投てき審判長の判断で変更することもある。

	走幅跳	砲丸投	円盤投	ジャベリックスロー
(男子)	5 m 0 0	8 m 0 0	1 5 m	3 0 m
(女子)	4 m 0 0	8 m 0 0	1 0 m	1 5 m

(5) 走幅跳は、1 組・2 組の 2 つに分けて行い、1 組をスタンド側、2 組をトラック側とする。

(6) アスリートビブスは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。腰ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。

(7) 競技者は、勝手に競技場所を離れること(競技規則 TR17.6,TR25.19)、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD プレーヤー・トランシーバーや携帯電話、もしくは、それらに類似の機器を競技区域内で所持または使用することは禁じられている。(競技規則 TR6.3.2)

(8) スパイクのピンは、オールウェザー用とし、長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳については、1 2 mm 以下とする。(競技規則 TR5.2)

(9) 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とする。(競技規則 TR5.2)

種 目	シューズの底の厚さ
トラック競技(ハードル含む)	20mm 以内
フィールド競技	

※競技終了後に、シューズの確認をする可能性がある。

- (10) ユニフォームに所属団体名を入れる場合、出場する所属団体名と同等のものとする。サイズは国内規程用の広告規程に準ずる。
- (11) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする（競技規則 TR16.8）。スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。
- (12) 本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (13) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各団体の監督が、総務員を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、 Jury に文書で申し出る。なお、Jury の裁定が最終決定となる。

5. バーの上げ方は次の通りとする。

種 目	1	2	3	4	5	6	
棒 高 跳	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	以降 10cm ずつ
男 子 走 高 跳	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	以降 3 cm ずつ
女 子 走 高 跳	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	以降 3 cm ずつ

6. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

7. 表彰について

- (1) 上位3位までの競技者には賞状を授与する。順位決定後、エントランスホールまで取りに来ること。

8. その他

- (1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各団体で責任を持つて行うこと。
- (2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
- (3) 本部前は通行禁止とする。
- (4) 応援について
 - ① 競技の妨げになるような応援は禁止する。
 - ② メインスタンドでの集団応援（連呼）は禁止する。
 - ③ フィールド競技付近は、メガホンなどを使用した応援や集団応援は禁止する。
- (5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
- (6) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
 - ① 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
 - ② 次の場合の撮影を禁止する。
 - ・ 禁止された区域での撮影。
 - ・ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。 など
- (7) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、現場での応急救置以外の責任は一切負わない。
- (8) 当日の記録（結果）は、アナウンス・競技場正面入口横の記録掲示板で確認する。
- (9) 本大会は、第56回U16陸上競技選手権大会の最終選考会とする。